

# 北九州市 公共施設マネジメント モデルプロジェクト 推進懇話会 (門司港地域複合公共施設整備事業)



## ～ 次第 ～

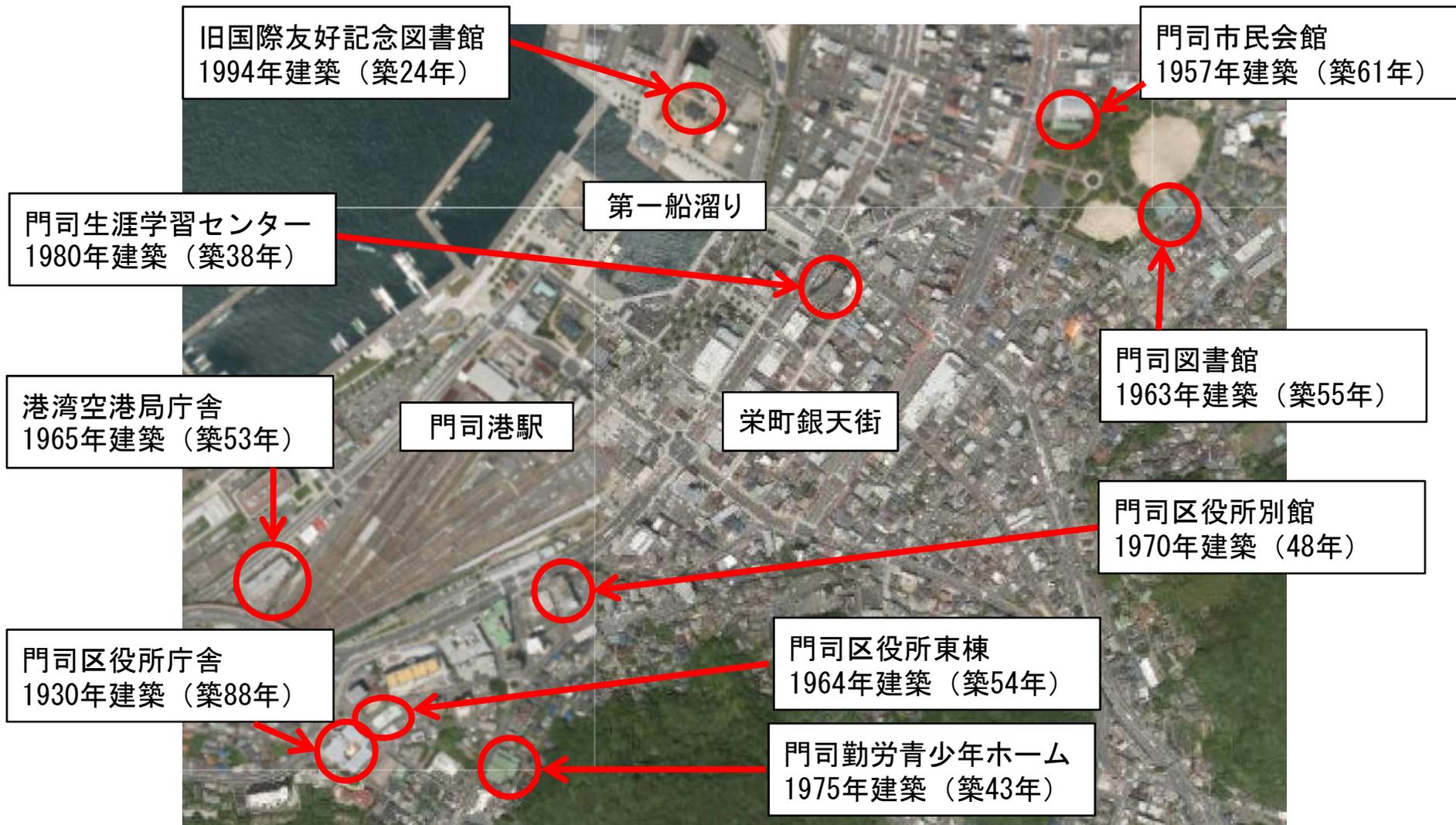
1. 公共施設マネジメント実行計画
2. 複合公共施設整備候補地の比較・選定
3. 複合公共施設の公共事業評価及び地元説明状況
4. 今後の進め方
5. 基本計画骨子（案）

# 1. 公共施設マネジメント実行計画

## (1) 門司港地域公共施設の現状と課題

### 門司港地域の公共施設

○老朽化が進み近い将来建替えが必要な公共施設が、中心市街地を取り巻くように点在している。



# 1. 公共施設マネジメント実行計画

## (1) 門司港地域公共施設の現状と課題

### 門司港地域の公共施設の課題(まとめ)

- 門司区役所庁舎、港湾空港局庁舎、門司市民会館、門司図書館は、老朽化が進み近い将来建替えが必要。
- 門司市民会館は、800席の大ホールがあるが、客席が狭い、楽屋が地下と2階しかなく使い勝手が悪いなどの問題があり、稼働率も低い。  
このため、更新に合わせて、他の施設との複合化や多機能化を検討し、適正規模へ見直しを行う必要がある。
- 門司市民会館、門司生涯学習センター、門司勤労青少年ホームには、会議室、和室等、類似した役割を持つ部屋が複数あるが、いずれも稼働率が低い状況。  
なお、勤労青少年ホームは、施設の設置根拠となる法律が失効したため、平成31年度末に廃止予定であり、生涯学習センターについても、北九州市公共施設マネジメント実行計画の中で、市民活動拠点施設として「特定目的のための施設」の考え方を見直し、誰もが利用しやすいようにすることとしている。
- 門司区役所や門司市民会館等は、建設年次が古いため、バリアフリーに対応できていない箇所が見受けられる。

# 1. 公共施設マネジメント実行計画

## (2) 門司港地域公共施設の将来需要

### 再配置計画の考え方

門司港駅周辺に公共施設を集約し、複合化・多機能化することで、利便性の向上及び市民サービスの効率化を図るとともに、公共施設を活かし、地域の活性化を図る

#### 【複合公共施設】

- ◆複合化・多機能化により、共用部分(玄関・階段・トイレなど)を削減し、整備・維持管理・運営費用を節減
- ◆「ホール」の座席を可動式にすることで、会議・スポーツ等、多目的利用
- ◆「会議室等」は、利用実態を踏まえて必要規模・部屋数を確保
- ◆「庁舎」は会議室の共用利用や共用部分の面積縮減を図る
- ◆利用形態に対応した有料駐車場を整備

#### 【その他】

- ◆門司勤労青少年ホームの体育室は、門司体育館等に利用振り替えする

# 1. 公共施設マネジメント実行計画

## (2) 門司港地域公共施設の将来需要

### 公共施設の集約化の対象施設と延床面積変化

現況施設		現状		将来計画	備考
市民 利用施設	門司市民会館	3,700㎡	8,500㎡	<u>3,600㎡</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的ホール</li> <li>・座席数見直 (800席→500席)</li> <li>・会議室機能の見直し (小24室→小7室)</li> </ul>
	門司生涯学習センター	3,000㎡			
	門司勤労青少年ホーム	1,800㎡			
図書館	門司図書館	1,000㎡	1,800㎡	<u>1,600㎡</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2施設を1施設 (同一フロアに集約)</li> </ul>
	旧国際友好記念図書館	800㎡			
庁舎	門司区役所	7,100㎡	10,600㎡	<u>8,800㎡</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議室等の共用利用</li> </ul>
	港湾空港局庁舎	3,500㎡			
計		20,900㎡		<u>14,000㎡</u>	

#### ○その他施設

◇有料駐車場(340台程度)

◇飲食や物販等の利便施設(200㎡程度)



# 1. 公共施設マネジメント実行計画

## (4) 1回目の主な意見について（公共施設マネジメント実行計画）

項目	主な意見
複合公共施設の「役割」に関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>① 複合公共施設単体で考えるのではなく、<b>商店街やレトロ施設との連携、回遊性</b>の中で考えるべき。</li><li>② 若者が集まる場、<b>人と人が出会う場</b>にできないか。</li></ul>
複合公共施設の「規模・仕様・場所」に関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>① 今後、「<b>楽しい施設ができる</b>」という、<b>市民向けのメッセージ性を高める必要がある</b>。</li><li>② <b>他区の施設の活用も想定</b>して、コンパクトなもので良い。</li><li>③ <b>区役所は、人口減少、業務やサービスの変化等による、規模縮小を想定した施設</b>にするべき。</li><li>④ 市民利用施設は、<b>使い勝手やサービスをあまり低下させると利用されなくなる</b>ので注意が必要。</li><li>⑤ <b>商業は1階が望ましい</b>。商業を入れるなら、区役所等は2階以上で良い。</li><li>⑥ 利便性を考えると、<b>駅東側が望ましい</b>。</li><li>⑦ 駅西側は、<b>強い風が吹くことが多く、アクセスなどの対策が必要ではないか</b>。</li></ul>
複合公共施設の「事業手法」に関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>① 門司港地域のポテンシャルで、<b>P F Iが成立するか、慎重に検討すべき</b>。</li><li>② 借地よりも、<b>建物を借りる方が安価</b>にならないか。</li></ul>

# 1. 公共施設マネジメント実行計画

## (4) 2回目の主な意見について（検討状況の説明）

項目	主な意見
複合公共施設の「役割」に関すること	①集約化は、コストダウンには繋がるが、賑わい創出へは結びつかない。 ②日常要素と観光要素ではターゲットが全く異なる、どちらかに特化した方が効率的になる。 ③景観重点整備地区であることを踏まえると共に、 <b>先進的な建物</b> にして欲しい。
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">第3回目で説明</div> 複合公共施設の「規模・仕様・場所」に関すること	①公共施設のマネジメントと、 <b>今後の人口減少の両方を睨みながら、施設のコンパクト化</b> を検討するべき。 ②市民利用施設の面積が大きく削減されているが、ニーズに対応できるのか。 <b>利用状況や稼働率等、施設規模の設定根拠を示すこと</b> 。 ③市民が利用しやすい施設とするためには、規模・施設構成からだけでなく、 <b>利用者目線のサービスや運営面からも整理されるべき</b> 。 ④ホールを上層階に配置する場合、機材や道具搬入等に配慮が必要 ⑤後世に負担を残さないという視点で、ホールが門司港に必要なか、どの程度の機能が必要かという議論が必要 ⑥2つの候補地の他に候補地がないのか再考すべき。
複合公共施設の「事業手法」に関すること	①民間事業者の参入の際は、公平で、競争が生まれるように公募の方法や条件等を設定するべき。
その他	①施設を利用しやすくするほか、施設量を超えたニーズに対応できるように、 <b>レトロ地区の施設を含めた施設案内等、ソフト面の対応サービスがあると良い</b> 。

# 1. 公共施設マネジメント実行計画

## (4) 3回目の主な意見について（複合公共施設の導入機能や規模等）

複合公共施設の集約先（候補地）・施設の規模については概ね了解を頂いた。

項目		主な意見
「役割」	「施設全体」に関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>・今の施設を単純に合算した考え方でなく、今までの公共施設では満たされていないことができるが良い。</li><li>・利用されやすさが大切。<u>「使ってもらえる」「魅力的な施設」</u>になるのか整理が必要</li><li>・他所にない施設でなく、社会活動の拠点、<u>みんなが交流できる施設</u></li></ul>
「規模 ・ 仕様」	「会議室機能」に関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>・周辺の施設（大連航路上屋）との連携したサービスの提供</li><li>・利用者本位の<u>相互利用申請システム</u></li></ul>
	「図書館機能」に関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>・静かに本を読み勉強する場所</li><li>・図書館に来た人たちが集える場所</li></ul>
	「庁舎機能」に関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>・区役所<u>窓口のワンストップサービス</u></li><li>・地域包括支援センター</li></ul>
	「新しい機能」に関すること	<ul style="list-style-type: none"><li>・飲食（カフェ）、託児やこどもの遊び場</li><li>・コミュニティスペース（健康診断、地域の発表会）</li></ul>

## 2. 複合公共施設整備候補地の比較・選定

### (1) 集約先の候補地

#### ① 複合公共施設の概要《候補地【 駅東地区(案A) 】》



## 2. 複合公共施設整備候補地の比較・選定

### (1) 集約先の候補地

### ② 複合公共施設の概要《候補地【 駅西地区(案B) 】》



## 2. 複合公共施設整備候補地の比較・選定

### (1) 集約先の候補地

#### 2つの候補地の概要

項目		駅東地区（案A）	駅西地区（案B）
敷地面積		約7,800㎡	約5,500㎡
土地の形状		(40~55m) × 95m	(20~50m) × 145m
現在の土地利用		主に時間貸し駐車場	月極め駐車場
接道状況		国道198号（2車線）	臨港道路（2車線）
用途地域 (建ぺい率／容積率)		商業（80％／400％） 準工業（60％／200％）	商業（80％／400％）
高さ制限		原則：35m	原則：35m
アクセス	門司港駅 改札口から	250m	250m ※幹線道路の横断要
	栈橋通り 交差点から	80m	450m
土地所有者		民間	北九州市（港湾空港局）

## 2. 複合公共施設整備候補地の比較・選定

### (2) 候補地の比較

#### 候補地の施設概要

	駅東地区（案A）	駅西地区（案B）
<b>施設概要 （公共施設）</b>	6 F 多目的ホール 5 F 会議室・多目的ホール 4 F 区役所・港湾空港局 3 F 区役所 2 F 区役所 1 F 図書館・利便施設・会議室	6 F 多目的ホール 5 F 会議室・多目的ホール 4 F 区役所・港湾空港局 3 F 区役所 2 F 区役所 1 F 図書館・利便施設・会議室
<b>駐車場（仕様）</b>	5階 約340台（認定品）	9階 約210台（鉄骨造）
<b>延床面積</b>	複合公共施設 約14,100㎡ 利便施設 約 200㎡ 立体駐車場 約 7,000㎡	複合公共施設 約14,500㎡ 利便施設 約 200㎡ 立体駐車場 約 9,700㎡
<b>公共施設 イメージ図</b>		

概要は今後の設計で変わることがあります。

## 2. 複合公共施設整備候補地の比較・選定

### (2) 候補地の比較

#### 候補地の比較（財政面）

- ◇ 支障物件移設費：案Aは敷地内の支障物件（埋設ケーブルや電車線等の改良、乗務員事務所移設等）の移設費用が発生する。
- ◇ 駐車場建築費：案Aは認定品による整備が可能で整備費が割安になる。  
案Bは不整形な高層になり整備費が割高になる。
- ◇ 借地料：案Aの敷地は借地であり、借地料を負担する必要がある。
- ◇ 駐車場収入：駐車台数は、案Bより案Aが多いので収入が確保できる。

比較項目		駅東地区(案A)	駅西地区(案B)
イニシャルコスト		約74億円	約74億円
支障物件移設費		約10億円	—
複合公共施設建築費		約56億円	約58億円
駐車場建築費		約 8億円	約16億円
ランニングコスト（年間）		約2.4億円	約2.9億円
支出	借地料	約0.3億円	—
	管理運営費	約2.2億円	約2.2億円
	施設保全費	約0.7億円	約1.1億円
収入	駐車場収入	約0.7億円	約0.3億円
	利便施設等賃料	約0.1億円	約0.1億円

## 2. 複合公共施設整備候補地の比較・選定

### (2) 候補地の比較・対応方針案

#### 候補地の比較（性能面）

比較項目	駅東地区(案A)	駅西地区(案B)
市民意見	○	△
事業性	○	○
交通アクセス	○	△
施設配置	○	△
駐車台数の確保	○	△
商店街への波及効果	△	×
総合評価	○	△



#### 対応方針

案Aの方が、財政面は大差はないが、性能面で優れていることから、**案A**を集約先として検討を深める。

## 2. 複合公共施設整備候補地の比較・選定

### (3) 門司港地域複合公共施設事業概要

- 事業名 門司港地域複合公共施設整備事業
- 事業箇所 北九州市門司区清滝2丁目
- 事業期間 平成31年度～平成34年度
- 全体事業費(概算) 約77億円

	内訳		市負担	社会資本整備 総合交付金	起債	その他
全体 事業費 (概算) (百万円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・測量 } (10)</li> <li>・調査 } (10)</li> <li>・基本設計 (100)</li> <li>・実施設計 (200)</li> <li>・建設工事 (7,400)</li> </ul>	事業費 内訳 (百万円)	現時点では未定であるが、国の補助金や交付金、公共施設最適化事業債等を最大限活用予定。			

#### ○関連する市の計画

- ・「元気発進！北九州」プラン(北九州市基本構想・基本計画)
- ・北九州市公共施設マネジメント実行計画
- ・北九州市都市計画マスタープラン(北九州市立地適正化計画)
- ・北九州市環境首都総合交通戦略(北九州市地域公共交通網形成計画)



# 3. 複合公共施設の公共事業評価及び地元説明状況

## (1) 公共事業評価検討会議での議論

事業の進め方について意見

「門司港地域複合公共施設整備事業」を本計画通りに進めていくことについて、出席したすべての構成員が「異論はない」との意見であった。

### 公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応（1）

項目	公共事業評価に関する検討会議での意見	市の対応方針（案）
(1) 景観への配慮について	門司港レトロ地区の玄関口、門司港駅前大切な場所なので景観に配慮すること。	門司港レトロ地区の玄関口にふさわしい景観となるよう努める。
(2) 複合公共施設の機能、レイアウトについて	複合公共施設が単体施設の寄せ集めにせず、 <u>複合化による新しい機能、施設の価値を上げるよう努めること。</u> また、観光客を含めた交流人口を増やす機能も必要ではないか。	複合化により新しい機能、価値を創出する施設になるよう努める。 集約する施設の機能については、関係者と協議調整したい。

# 3. 複合公共施設の公共事業評価及び地元説明状況

## (1) 公共事業評価検討会議での議論

### 公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応 (2)

項目	公共事業評価に関する検討会議での意見	市の対応方針 (案)
(3) 複合公共施設の拠点性について	門司港地域の拠点となる施設、地域住民だけでなく、 <u>域外の人も集まる施設にするよう努めること。</u>	現在の複合公共施設利用者だけでなく、多くの方に利用して頂ける施設となるよう努める。
(4) 意見聴取及び市の体制について	基本計画の策定にあたっては、市内の建築設計の <u>専門家から意見聴取すること。</u> また、 <u>複合公共施設を整備する市の体制を整えること。</u>	基本計画の策定については、専門家などの意見を聴取するとともに、市内部の関係部署と密に連携して取り組む。
(5) 集約した施設の跡地、跡施設の活用について	<u>集約した施設の跡地、跡施設が有効活用</u> できるよう努めること。	複合公共施設を整備に伴い、集約した施設の跡地、跡施設については、民間売却を原則とする。 国の登録有形文化財である門司区役所庁舎については、民間での有効活用を基本に検討していく。

### 3. 複合公共施設の公共事業評価及び地元説明状況

#### (2) 事業概要及び市の対応方針（案）に対する市民意見の募集

##### 市民意見の募集

- 実施期間 : 平成30年11月28日（水）～12月28日（金）
- 意見提出者 : 38人
- 提出された意見数 : 111件

内 訳	件 数
1. 全体的な意見について	16件
2. 複合公共施設の位置について	16件
3. 公共施設の集約について	29件
4. 複合公共施設の仕様について	20件
5. 門司港地域のまちづくりについて	13件
6. 広報、意見聴取について	5件
7. その他	12件

##### ◆市の対応方針

事業評価に向けた準備を継続することとし、より事業が具体化された後に、2度目の事業評価を行うこととする。

### 3. 複合公共施設の公共事業評価及び地元説明状況

#### (2) 事業概要及び市の対応方針（案）に対する市民意見の募集

##### 【主な意見】

##### ◇複合公共施設の位置や集約について

- 老朽化が進み、交通利便性の悪い場所に立地している公共施設を使い勝手がよく交通利便性の良い門司港駅付近に集約する今回の事業については大いに賛成。
- 公共施設は住民が気軽に利用できるよう、分散して建ててほしい。
- 既存の複数の施設を、集約することで、施設の建設費、維持管理費、運営費が削減されることは、私たち市民にとっても嬉しい。
- 図書館は駐車場（無料）が多くあり、静かな場所がよい。



##### 【市の対応方針（考え方）】

- 老朽化が進み近い将来建替えが必要な公共施設を門司港駅付近に集約し、複合化・多機能化することで、施設整備費、維持管理費、運営費を削減する。また、利便性の向上及び市民サービスの効率化を図るとともに、図書館などの市民利用施設を活かし、地域の活性化に寄与する。
- 公共施設を集約した場合と個別に施設を建て替えた場合の概算事業費を比較した結果、集約した方が、個別に建て替えるよりイニシャルコストで24約億円、ランニングコストで年間約6千万円の負担削減が見込まれる。

### 3. 複合公共施設の公共事業評価及び地元説明状況

#### (2) 事業概要及び市の対応方針（案）に対する市民意見の募集

##### 【主な意見】

##### ◇複合公共施設の仕様について

- 施設の1階部分は、コンビニや店舗を入れるなどして、いつも人が集まる工夫をして頂きたい。
- 1階を区役所とし、上の階に図書館を置くべき。
- 複合化による観光客や域外の人が気軽に立ち寄ったり、住民とも交流できるような、新しい機能、価値を創出するような複合公共施設を目指してほしい。



##### 【市の対応方針（考え方）】

- 複合公共施設の施設配置（施設概要）については、現段階の想定を示しており、今後の設計で変更することがあり、ご意見は、今後の検討にあたっての参考とさせていただきます。
- 複合公共施設の設計段階での配慮に対するご意見については、今後の検討の参考とさせていただきます。

### 3. 複合公共施設の公共事業評価及び地元説明状況

#### (2) 事業概要及び市の対応方針（案）に対する市民意見の募集

##### 【主な意見】

##### ◇門司港レトロ地域のまちづくりについて

- 外観については特に磨きをかけて、100年経っても素晴らしい建物であり続けられるようなものを考えてほしい。
- 移転後の跡地利用について、住民の意見を取り入れて、活用してもらいたい。
- 商店街の方にも人が行くよう考えてもらいたい。
- 門司港駅とレトロ地区と今回の複合公共施設が一体的になれば魅力が増す。



##### 【市の対応方針（考え方）】

- 門司港地区は、景観法に基づく景観重点整備地区に指定されており、複合公共施設や立体駐車場も景観形成基準に適合した景観に配慮した建物にし、門司港レトロ地区にふさわしい建物となるよう努める。
- 集約した施設の跡地・跡施設の利活用については、民間売却や民間活用を基本としつつ、まちづくりの視点を取り入れながら、周辺の土地利用に適合した利用に転換する。
- 周辺の中心市街地やレトロ地区のにぎわいに対するご意見については、今後の検討の参考とさせていただきます。

# 3. 複合公共施設の公共事業評価及び地元説明状況

## (3) 市民説明の状況

説明会 : 11回開催（平成30年まで）

参加者 : 延べ 242人

対象者 : 自治会、商店街、まちづくり団体、施設利用者、一般市民

### ○主な意見

#### 【賛成意見】

- ・ 事業について賛同。
- ・ 跡地利用をどうするのか。
- ・ 門司港駅前の景観に配慮してほしい。
- ・ 基本設計の段階で、施設の詳細について別途協議したい。

#### 【反対意見】

- ・ 公共施設の集約に反対、他の地域が寂れる。
- ・ 図書館は静かな場所にあるべき。
- ・ 門司港地域の公共施設大きく削減されて納得いかない。

#### 【その他要望】

- ・ 音響のよい音楽ホールがほしい。

## 4. 今後の進め方

### (1) 門司港地域モデルプロジェクトの進捗状況と今後の予定

#### 【進捗状況】

平成28年2月 公共施設マネジメント実行計画  
6章 モデルプロジェクト再配置計画【門司港地域】

- ・2つの集約先
- ・集約対象施設

平成30年 公共事業評価(事前評価1)

- ・公共事業評価に関する検討会議 (10月30日)
- ・パブリックコメント (~12月28日)
- ・対応方針の公表 (2月14日)
- ・モデルプロジェクト推進懇話会(2月14日)

平成31年3月頃 基本計画 策定

- ・施設の場所
- ・施設の基本的機能と規模 等

平成31年度 基本設計 着手

平成31年度下半期 公共事業評価(事前評価2)

2度目の事業評価

平成32年度以降 実施設計・工事

平成34年度末完成

# 5. 基本計画骨子(案)

## (1) 基本計画の目次構成【基本方針】

### 1. 基本方針

#### (1) 計画策定の経緯

- ①門司港地域複合公共施設整備事業の位置づけ
  - ・公共施設マネジメント実行計画（方針及び施設分野別に基づく計画）
- ②門司港地域複合公共施設整備事業の検討状況
  - ・モデルプロジェクト推進懇話会
  - ・公共事業評価（事前評価Ⅰ）
- ③門司港地域モデルプロジェクト再配置の基本的な方針
  - ・実行計画（第6章 モデルプロジェクト再配置計画）

#### (2) 複合公共施設整備予定箇所

#### (3) 上位計画の位置づけ

- ①「元気発信！北九州」プラン（北九州市基本構想・基本計画）
- ②北九州市公共施設マネジメント実行計画
- ③北九州市都市計画マスタープラン
- ④北九州市都市計画マスタープラン【立地適正化計画】
- ⑤北九州市環境首都総合交通戦略
- ⑥北九州市景観づくりマスタープラン

#### (4) モデルプロジェクトに対する意見

## 5. 基本計画骨子(案)

### (1)基本計画の目次構成【整備基本方針、整備計画、事業手法、運営計画】

#### (5)複合公共施設の整備基本方針(全体方針)

- ①門司港地域全体にとって「複合公共施設」整備の意義
  - ・門司港地域と複合公共施設予定地区
  - ・門司港地域における「複合公共施設」整備の役割
- ②「複合公共施設」整備の基本的な考え方

#### (6)各施設の整備基本方針

- ① 市民利用施設
  - －1) 多目的ホール
  - －2) 会議室 等
- ② 図書館
- ③ 庁舎(区役所・港湾空港局)
- ④ 利便施設 (200㎡程度)
- ⑤ 駐車場 (約340台)
- ⑥ 屋外空間 (歩行者動線、公共交通乗継)

### 2. 整備計画

#### (1)複合公共施設の配置と構成

#### (2)各施設の整備内容

### 3. 事業手法

### 4. 運営計画

### 5. スケジュール

## 5. 基本計画骨子(案)

### (2) 門司港地域複合公共施設整備の基本的な考え方

門司港レトロの玄関口に誇れる「みんなの施設」

目標1：市民が誇りを持って利用し、育てていく施設づくり

(機能、運営システム、連携等のモデル)

目標2：市民も観光客も立ち寄りたくなる施設づくり

(周辺環境、景観等のモデル)

目標3：これからの公共施設が備えるべき性能・設備を先取りした施設づくり

(建物の性能、ライフサイクル等のモデル)

魅力ある賑わいの創出

- ・日常生活における交流
- ・観光による集客

持続可能な施設の構築

- ・環境負荷低減
- ・景観デザイン
- ・将来への対応

基本的な性能の確保

- ・安全、安心、快適
- ・防災拠点

## 5. 基本計画骨子(案)

### (3)各施設の整備基本方針、整備計画(市民利用施設)

#### 多目的ホール

##### ○整備基本方針

- ◇市民・団体の活動拠点として、地域拠点施設に位置づけ、施設規模に応じて地域の文化行事や個人の演奏会などに使用する。
- ◇「ホール」は、舞台設備等を備えた文化ホール仕様。
- ◇座席を可動式の多目的ホールとすることで、会議、文化活動、スポーツ等にも活用。

##### ○整備計画(目標面積・規模 等)

- ◇面積:1,700㎡ 座席数:500席

#### 会議室等

##### ○整備基本方針

- ◇特定の目的に縛られず、公共性を有する活動であれば利用可能とすることで、幅広く公共的な多くの市民の利用に供する施設。
- ◇会議室は大会議室と複数の小会議室を設置し、会議室には可動壁を採用するなど、多様な活動内容への対応を図る。
- ◇図書館での様々な活動など、複合化による多様な可能性を活かす。

##### ○整備計画(目標面積・規模 等)

- ◇面積:1,900㎡(大会議室1室、小会議室7室)

## 5. 基本計画骨子(案)

### (3)各施設の整備基本方針、整備計画(図書館、庁舎)

#### 図書館

##### ○整備基本方針

- ◇地区図書館として、区民を中心に貸出、予約、読書案内、簡易なレファレンスなどのサービスに加え、各種講演会、講座を行う施設とする。
- ◇国際交流に関する図書、地域に関する図書など地域特性に関連する図書、情報の充実を図る。
- ◇静かに本を読む場所と図書館に来た人たちが集える場所を確保する。

##### ○整備計画(目標面積・規模 等)

- ◇面積:1600㎡

#### 庁舎

##### ○整備基本方針

- ◇まちづくりの推進や地域コミュニティ活動への支援、保健福祉や子育てに関する相談、災害時の防災拠点など、住民に身近で多様な役割を果たす。
- ◇来庁者の利便性に配慮し、窓口ワンストップサービスなど効率的、効果的な市民サービスの提供を図る。
- ◇港湾空港行政の役割を果たす施設。
- ◇会議室を相互利用するなど、複合化のメリットを活かした運営を図る。

##### ○整備計画(目標面積・規模 等)

- ◇面積:8,800㎡(区役所 6,800㎡、港湾庁舎 2,000㎡)